

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
令和6年度事業計画

【基本方針】

主として独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）からの委託を受け、組踊等の公開等の事業について次の業務を行う。

- 1 沖縄伝統芸能等の公演
- 2 伝統芸能伝承者養成業務
- 3 調査研究、資料収集・利用業務
- 4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
- 5 国立劇場おきなわの施設の管理運営
- 6 その他必要な業務

1 沖縄伝統芸能等の公演（170,161千円）

(1) 自主公演の開催（152,283千円）

〔目的〕 沖縄伝統芸能等の公演

〔事業内容〕 自主公演（下記の23公演37回）の稽古及び開催

○定期公演（14公演20回）

公 演 名	期 日	回数
琉球舞踊「うりずんの舞」	4月13日、14日	2回
琉球舞踊「打組舞踊の会」	4月20日	1回
組踊「銘苺子」「女物狂」※	5月11日	1回
三線音楽「～大湾清之 人間国宝認定記念～古典音楽の美」	5月25日	1回
琉球舞踊「新進男性舞踊家の会」	6月8日、9日	2回
沖縄芝居「恐ろしき一夜」「朝顔夕顔」※	7月13日、14日	2回
組踊「手水の縁」※	10月5日	1回
琉球舞踊「琉球舞踊鑑賞会」	12月21日	1回
琉球舞踊「男性舞踊家の会」	1月11日、12日	2回
民俗芸能「やんばるの芸能」	1月19日	1回
琉球舞踊「琉球舞踊特選会」	2月8日、9日	2回
組踊「具志川大軍」※	2月22日	1回
琉球舞踊「創作舞踊の会」	3月15日	1回
沖縄芝居 史劇「東立ち雲」	3月22日、23日	2回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○企画公演（4公演4回）

公演名	期間	回数
琉球箏曲の美	6月29日	1回
新作組踊	9月28日	1回
アジア・太平洋地域の芸能「韓国の梵唄と日本の語り」	10月20日	1回
国立劇場寄席	11月16日	1回

○研究公演（1公演1回）

公演名	期間	回数
組踊「大川敵討ー1838年の台本に拠る」※	12月14日	1回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○普及公演（4公演12回）

公演名	期間	回数
組踊の世界「執心鐘入」※	7月20日	1回
琉球舞踊鑑賞教室 ※	8月24日	1回
沖縄芝居鑑賞教室「松の精」※	9月12日～14日	3回
組踊鑑賞教室「万歳敵討」（注）	10月30日～ 11月1日	6回
はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「万歳敵討」※	11月2日	1回

※公演名の（注）印は、沖縄県の受託公演。（4）琉球歴史文化芸術興隆事業に再掲

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

(2) 共催公演の開催

○貸公演（4公演16回）

公演名（下段は連携協力先等）	劇場	期間	回数
沖縄県伝統芸能公演（かりゆし芸能公演） （（公財）沖縄県文化振興会）	小劇場	6～2月	9回
組踊 琉神マブヤー （組踊琉神マブヤー製作委員会）	大劇場	8月	5回
沖縄県立芸術大学「第35回琉球芸能定期公演」 （沖縄県立芸術大学）	大劇場	10月	1回
新春組踊大公演 （（一社）伝統組踊保存会）	大劇場	1月	1回

(3) 団体バス助成事業 (2,000千円)

[目的] 青少年等、国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会が少ない層の団体に対して、劇場までのバスチャーター経費を助成する。

[事業内容] 貸切バスの費用を助成する。

(4) 琉球歴史文化芸術興隆事業 (15,283千円) <沖縄県委託事業>

[事業名] 担い手確保・県外PR事業

[目的] 県外での沖縄伝統文化の公演等を通じて県内へ観光客を誘致するとともに、「琉球歴史文化の日」に若年層が文化に触れる機会を創出する。

[事業内容] 県外文化施設で沖縄伝統芸能の公演とワークショップを実施する。県内では「琉球歴史文化の日」にあわせて若年者対象の公演とワークショップを実施する。

また、鑑賞する学校団体のうち3校(予定)に、組踊ワークショップの出前講座を実施する。

○沖縄県委託事業による公演(県外:1公演1回、県内1公演6回)

公演名(下段は連携協力先等)	劇場	期間	回数
国立劇場おきなわ県外公演 (学校法人瓜生山学園 京都芸術大学)	京都芸術劇場 春秋座	6月1日	1回
組踊鑑賞教室「万歳敵討」※再掲	大劇場	10月30日～ 11月1日	6回

2 伝統芸能伝承者養成業務 (21,109千円)

(1) 組踊(立方・地方)の伝承者養成事業 (17,894千円)

[目的] 国の重要無形文化財「組踊」立方・地方の伝承者を養成する。

[事業内容] 第7期研修生に対し、実技(組踊・副・基礎)等研修及び発表会を実施するとともに、組踊養成事業の計画並びに評価を専門的観点から検討するため、養成事業委員会を開催する。

○研修発表会(2公演2回)

公演名	劇場	期間	回数
第7期組踊研修生第3回研修発表会	大劇場	10月10日	1回
第7期組踊研修生第4回研修発表会	大劇場	3月6日	1回

(2) 既成者研修事業 (3,215千円)

[目的] 研修を修了した者に既成者研修を行い、技芸の向上を図る。

[事業内容] 組踊研修を修了した若手実演家に対し、組踊実技の研修及び若手伝承者公演を実施する。

○既成者発表会（1公演1回）

公演名	劇場	期 間	回数
第14回若手伝承者公演	大劇場	11月30日	1回

3 調査研究、資料収集・利用業務（21,966千円）

(1) 芸能記録作成（18,564千円）

〔目 的〕 組踊等沖縄伝統芸能の調査を実施し、収集、整理及び記録作成を行う。
また、自主公演の記録、上演資料集、公演記録台本等の作成等を行う。

〔事業内容〕 組踊等沖縄伝統芸能の調査、収集、整理及び記録作成を行うとともに、
自主公演の公演記録、上演資料集及び公演記録台本の作成を行う。

(2) 組踊等沖縄伝統芸能の図書資料等の収集・整理・利用（3,402千円）

〔目 的〕 組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資する図書資料等の収集、整理を
行う。また、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用
に供する。

〔事業内容〕 図書資料等の収集整理、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、
一般の利用に供する。また、公演記録鑑賞会及び沖縄伝統芸能等公開
講座を開催する。

○展示（4回）

展示名称	期 間	日数
第1回企画展「打組舞踊」	4月13日～6月16日	65回
第2回企画展「子ども企画」	7月13日～9月16日	66日
第3回企画展「組踊」	10月5日～12月15日	72日
第4回企画展「沖縄芝居」	1月11日～3月23日	72日

（展示会場：国立劇場おきなわ資料展示室）

○公演記録鑑賞会及び公開講座（4回）

講座等名称	劇場	期 間	回数
「打組舞踊」	小劇場	4月17日	1回
「こどもおどり塾」	大劇場	8月4日	1回
「韓国の芸能」	小劇場	10月17日	1回
「沖縄芝居」	小劇場	2月25日	1回

4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること（9,325千円）

(1) 劇場施設の貸付

[目的] 劇場施設（大劇場、小劇場及び稽古場）の貸付を行い、芸術・文化の振興に寄与する。

[事業内容] 劇場施設の貸付を行い、国民の芸術・文化活動等の利用に供する。

5 国立劇場おきなわの施設の管理運営（592,578千円）

(1) 国立劇場おきなわの施設の管理運営

[目的] 振興会からの委託を受け、国立劇場おきなわの施設の管理運営を行う。

[事業内容] 国立劇場おきなわの施設の管理運営。

6 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催（3,775千円）

[目的] 国立劇場おきなわ自主公演を継続して鑑賞する者の便宜を図ることを目的とする「友の会」の会員募集を行う。また、会員特典として、会報の発行や講演会等を開催する。

[事業内容] 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集、会報の発行及び講演会等の開催。

(2) 募金活動等の推進（640千円）

[目的] 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団の活動資金の造成を図る。

[事業内容] 企業等へ賛助会員加入及び寄付金（職場募金）を依頼する。

【参考】「日本博2.0」事業関連（71,833千円）

※金額・内容ともに申請ベース（採択率勘案）「1 沖縄伝統芸能等の公演」の内数

※「日本博2.0」は、「日本の美と心」を基本コンセプトに、最高峰の文化資源を更に磨き上げ、その強みや魅力を見える化することによって、年間を通してインバウンドの需要に応えることを目的とした国の事業

(1) 沖縄伝統芸能の発信～2025年大阪・関西万博へ～

① 沖縄伝統芸能公演の多言語対応

インバウンド等初心者にも理解しやすい沖縄伝統芸能の公演（組踊、沖縄芝居など）を制作、多言語の音声ガイド・字幕タブレット・解説書等を提供する。チケット購入者を対象としたバックステージツアーや、当日公演前の劇場内でのワークショップなどの特別な体験を組み合わせた公演も実施する。また、沖縄県が実施する首里城復興イベントとタイアップし、首里城で英語による逐次解説付きのワークショップを行い、外国語対応の公演に誘客する。

<コンテンツとして用意する公演>

公演名	期日	回数
組踊「銘苺子」「女物狂」	5月11日	1回
沖縄芝居「恐ろしき一夜」「朝顔夕顔」	7月13日、14日	2回
組踊の世界「執心鐘入」	7月20日	1回
琉球舞踊鑑賞教室	8月24日	1回
沖縄芝居鑑賞教室「松の精」	9月12日～14日	3回
組踊「手水の縁」	10月5日	1回
組踊鑑賞教室「万歳敵討」 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～	11月2日	1回
組踊「大川敵討ー1838年の台本に拠る」	12月14日	1回
組踊「具志川大軍」	2月22日	1回

② 講座とからくり花火

日本古来の技術（長野県清内路）によるからくり花火を復元し、10月頃清内路で開催される祭り会場にて、実演する。その調査と成果を講座で発表する。

ホームページにからくり花火のサイトを開設し、多言語で周知し、情報を発信する。併せてSNSでも情報発信する。

③ インバウンド誘客事業

インバウンドの状況把握に向け、関係機関団体等へのヒアリングを行う等事前情報収集を行い、旅前情報として現地の関係機関団体等と連携し情報発信を行う。インバウンドが沖縄に到着後は、空港やレンタカーの店舗等にチラシ等を設置するほか、ホテルとの周知連携を図る。那覇クルーズターミナルや主要離島でも情報を提供する。インバウンドが劇場到着時には、公演案内アナウンスや解説書（多言語）等の提供を行う。そのほか、在留外国人から母国にいる家族・友人等へ発信できるよう各種広告、SNS等での情報発信も強化するなど、あらゆる手法を用いて、さらなる認知度の向上及び来場者数の増加に繋げる取組を行う。